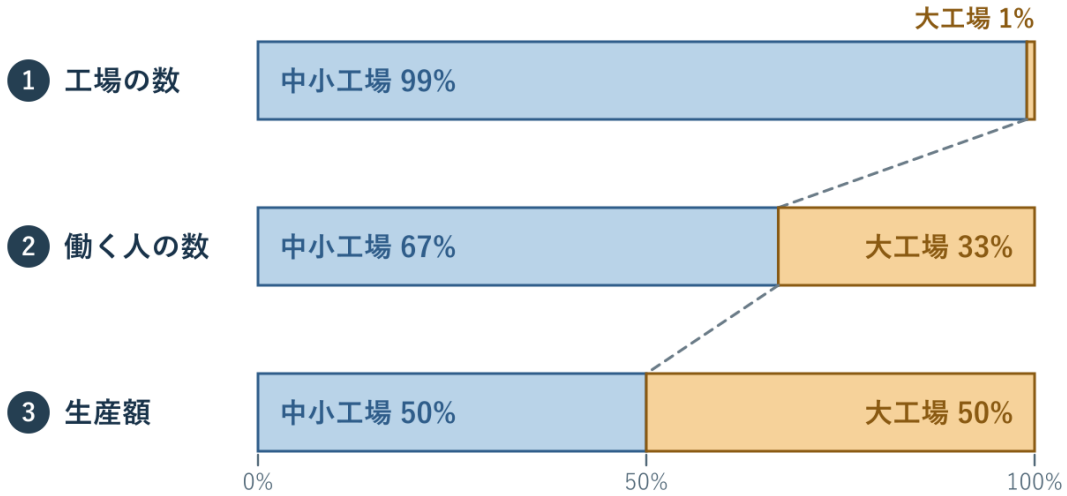
大工場と中小工場（数と生産額をくらべる）

工場のほとんどは中小工場なのに、生産額はどうなっているのだろう

大工場と中小工場のわりあい（模式）

この図での分け方：働く人が300人以上の工場＝大工場、それより少ない工場＝中小工場

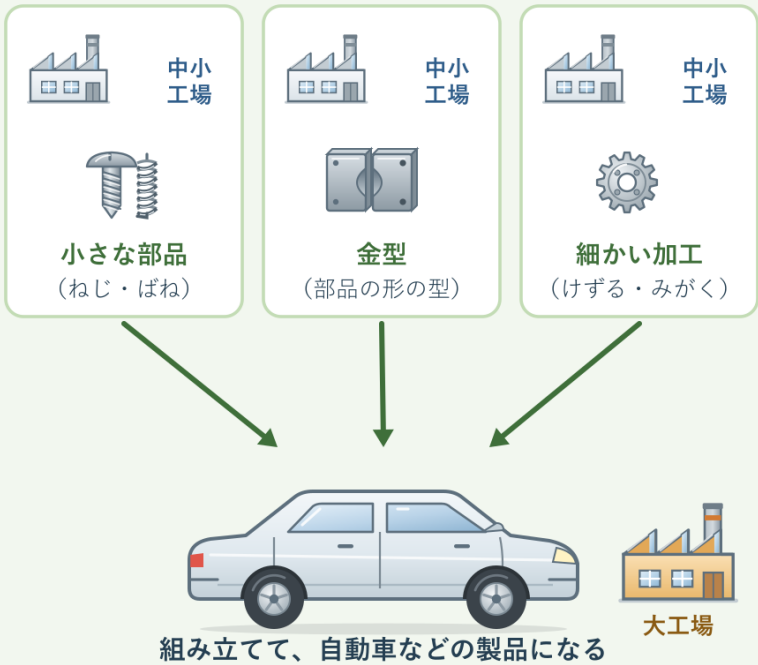


読み取ろう

1. 工場の数では、ほとんどが中小工場
2. 働く人の数では、3分の2ほどが中小工場
3. 生産額では、大工場が半分ほどを生産している

→ 大工場は数は少ないが、1つの工場でたくさんの製品をつくる

中小工場の技術が製品を支える（例）



中小工場の役割

- 大工場の製品を、部品や技術で支える
- ほかの工場にない技術をもつ工場もある
- 地域の多くの人が働く場所になっている（左の2）

※ 帯グラフのわりあいは架空の例で、型を示す模式（実測値ではない）。実際のわりあいは統計（年によって変わる）で確かめる。